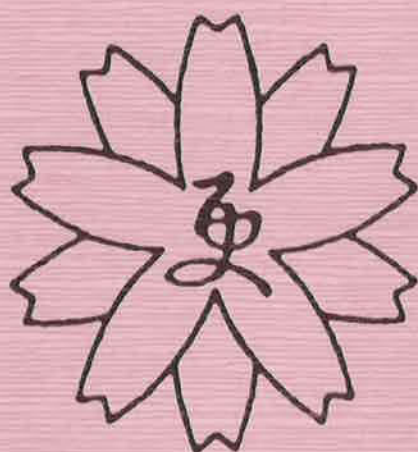


出雲更生保護女性会  
結成60周年記念誌



出雲更生保護女性会

皇后宮沛歌

きずつきし心の子らを

いだきよする ははとも

なりていつくしまなむ

みすけきこ心のまが

いふかよはるはらむ

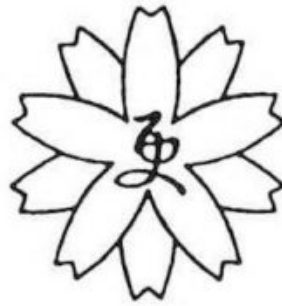
たかまはくま

ねえ

久子書

更生保護制度施行十周年にあたり昭和三十四年九月  
皇后陛下より更生保護関係者に賜った御歌

謹書 鳥津久子



## 更生保護女性会綱領

1. 私たちは一人ひとりが人として尊重され、社会の一員として連帯し、心豊かに生きられる明るい社会をめざします。
1. 私たちは更生保護の心を広め、次代を担う青少年の健全な育成に努めるとともに、関係団体と連携しつつ、過ちに陥った人たちの更生のための支えとなります。
1. 私たちは知識を求め自己研鑽に励むとともに、あたたかな人間愛をもって明るい社会づくりのために行動します。



## 目次

記念誌発刊によせて	出雲更生保護女性会 会長 嘉藤 馥美	1
祝 辞		
ごあいさつ	出雲市長 飯塚 俊之	2
ごあいさつ	出雲地区保護司会 会長 三島 洪道	3
思い出の記		
	出雲更生保護女性会 顧問 鐘 築 章 恵	4
	出雲更生保護女性会 顧問 加 藤 澄 子	4
出雲更生保護女性会 結成 60 周年記念式典・令和 4 年度総会		5
出雲更生保護女性会 10 年間のあゆみ		
概 要		7
活動状況		8
役 員		9
総会に於ける講演会の演題及び講師一覧		9
会員研修一覧		9
顕 彰 者		10
各地区更生保護女性会のあゆみ		
今市地区更生保護女性会		12
大津地区更生保護女性会		14
塩冶地区更生保護女性会		16
古志地区更生保護女性会		18
高松地区更生保護女性会		20
四絡地区更生保護女性会		22
高浜地区更生保護女性会		24
川跡地区更生保護女性会		26
鳶巣地区更生保護女性会		28
上津地区更生保護女性会		30
稗原地区更生保護女性会		32
朝山地区更生保護女性会		34
乙立地区更生保護女性会		36
神門地区更生保護女性会		38
神西地区更生保護女性会		40
長浜地区更生保護女性会		42
更生保護女性会だより		44
出雲更生保護女性会会則		45
編集後記		47

## 記念誌発刊によせて



出雲更生保護女性会 会長 嘉藤 馥美

出雲更生保護女性会結成60周年に当たり、50周年から60周年までの10年間の活動を今後の道しるべとするため、会員の皆様の情熱と努力により、ここに記録としてとどめることができました。心から感謝申し上げます。

出雲更生保護女性会は、「非行や犯罪のない明るい社会」「次代を担う青少年の健やかな成長」を願って昭和37年3月に「出雲地区更生婦人会」として49名で結成され、現在は旧出雲市内16地区、会員125名に至っています。その組織が60周年の大きな節目を迎え、令和4年5月に松江保護観察所 西江所長・出雲地区保護司会 三島会長・出雲地区BBS会 春日会長・出雲市コミュニティセンター長会 板垣会長のご臨席のもと記念式典を開催いたしました。

結成以来の活動は、子供たちや心ならずも罪を犯した人々が図書に親しみ、人を思いやる心を培ってほしいと願い、「社会を明るくする運動」の一環として市内のご家庭、事業所、公共機関に出かけ皆様より愛情のこもったお気持ちをいただいています。これを図書の購入費として市内の小学校・中学校・幼稚園・保育園(所)・養護学校72校に、また社会復帰施設、児童相談所、更生保護施設等々に贈る“愛の図書”寄贈運動に取り組んでいます。

またこの10年は鐘築章恵元会長の提案により、幼稚園・保育園(所)・児童クラブ等へ出かけ犯罪防止の紙芝居『ミミちゃんのとてとて』『マクソンとプーちゃん夢の町三丁目』『おば一の朝ごはん』活動に取り組んできました。一人一人の志、思い、それを力として仲間と一緒に活動し、積み重ねてきました。支え合い、ともに活動していただきました会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

また、この間に保護司会をはじめ関係機関団体等多くの皆様から頂きました温かいご指導・ご支援に対しても心から感謝し、厚く御礼申し上げます。

この10年間、社会生活も急速に変化しています。コロナ禍にあっては、私たちは顔を合わせ、一言声をかけあうことの素晴らしさを感じました。今できることは何かを考え、明るく笑顔で活動してまいりたいと存じます。半世紀以上にわたり先人の苦労の上に築かれたこの活動を一層推進していかなければと、心新たにいたしました。

発刊に当たり賜りました祝辞、温かい励ましのお言葉を胸に、これからも力を合わせてみんなが心豊かに生きられる社会を目指して活動したいと思います。



## 祝 辞



出雲市長 飯塚 俊之

出雲更生保護女性会結成60周年記念式典が盛大に開催されましたことを、心からお祝い申し上げます。平素から、出雲更生保護女性会の皆様におかれましては、地域の中で犯罪や非行の未然防止活動を行うとともに、犯罪や非行に走ってしまった人たちの更生や社会復帰の支援活動など、様々な社会福祉活動にご尽力いただいておりますことに、深く感謝を申し上げます。

さる、令和元年から世界中で猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症は、現在もウイルス変異を続け感染者数は高止まりしており、未だに収束が見えない状況にあります。社会活動は制約され、心身も経済状況も疲弊が続いている状況にあります。さらに、新しい生活様式を取り入れながらの生活は、社会を構成する人々のつながりを希薄にしているようにも感じます。

こうした苦しい状態となる人が増えていく中で、やむにやまれず犯罪に走る人が出ないよう対策を考えていく必要があります。令和2年版犯罪白書によれば、我が国の犯罪件数は平成14年の約285万件をピークに年々減少しており令和元年度は約75万件となっています。その一方で再犯者率は増加傾向にあり、近年は約50%となっています。再犯がなくなれば、犯罪件数は半減できることになり、犯罪件数の抑制のために再犯防止は最も重要な課題といえます。

国においては、平成28年に「再犯防止等の推進に関する法律」の施行、平成29年に「再犯防止推進計画」の制定、令和元年に「再犯防止推進計画加速化プラン」の決定などにより、誰一人取り残さない社会の実現に向けて、再犯防止対策に重点的に取り組まれているところです。

こうした課題に対して、更生施設訪問や愛の図書募金活動等の活動を通じた啓発活動や組織のPR、他団体と連携し「社会を明るくする運動」や街頭パトロールなど、更生に向けての活動や青少年健全育成に取り組んでおられる皆様方のご協力は以前にも増して、欠かせないものと考えております。

本市といたしましても、安全で安心なまちづくりのため、令和4年3月に「出雲市再犯防止推進計画」を策定しました。また、防犯や青少年健全育成をはじめ、諸施策の展開を図りますとともに、社会を明るくする運動など、出雲更生保護女性会の皆様とともに取り組みを続けることにより、犯罪のない明るい地域づくりに努めてまいりたいと考えております。

今後、出雲更生保護女性会の一層のご発展と会員皆様のご健勝、ご活躍を祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

## 出雲更生保護女性会結成60周年記念誌発刊に寄せて



出雲地区保護司会 会長 三島 洪道

出雲更生保護女性会結成60周年に当たり、記念事業として記念誌が発刊されますことを、心よりお祝い申し上げます。

日本更生保護の基礎は明治時代に始まり、島根県に於いては大正2年頃に免囚保護事業が実施され、出雲地区には、大正11年10月に旧簸川保護会が組織されております。その後、発展し、解散して

今市司法保護委員会が組織され、更生保護が引き継がれました。昭和24年に犯罪者予防更生法が施行され、昭和25年には保護司法が施行されました。これにより少年保護司、成人保護司が誕生しましたが、昭和27年にはこの区別は廃止されて、統合の「出雲地区保護司会」が誕生しました。

このように早くから更生保護に対する考えが芽生えており、更生保護事業が歴代の奉仕の念、熱き保護司並びに篤志家の助成を得て発展してきておりますことに考え深い思いがしております。

その中であって、出雲更生保護女性会（旧更生保護婦人会）は、昭和37年3月に結成され、会員も134名を数え、平成、令和へと60年の長きに渡り、更生保護の明かりを繋いでこられました。一隅を照らし続けてこられた歴代の会長様、支えてこられました会員の皆様のご努力にたいして深甚の敬意を表します。

女性の立場から、「更生保護制度」の運用に献身的に努力協力され、青少年の犯罪防止と育成、地域社会の浄化を図り、犯罪のない明るい社会の実現に向けて活動されております。

その活動に勇気づけられ、必ずや更生に向けて進まれ、また地域は浄化されると確信します。

平成28年12月に成立した「再犯防止等推進法」は、犯罪者等の円滑な社会復帰を促進することが重要であるとし、国及び地方公共団体の責務を規定した歴史的な改革がなされました。出雲市におかれましても「再犯防止等推進法」に向けて様々な支援がなされております。このことは、更生保護に携わる者にとりましてはとても力強いことであり、勇気づけられます。

近年、犯罪件数は減少の方向にありますが、なお予断はできません。青少年が事件に巻き込まれ被害者となるなど常に危険な状態です。また再犯率は年々高くなっており、更生保護は再犯者の防止と支援・抑止に力を注いでいかなければなりません。

最後になりましたが、出雲更生保護女性会が「社会の光」となってさらに発展しますよう祈念して祝辞とさせていただきます。結成60周年誠にありがとうございます。



## 「思い出の記」



### 紙芝居『ミミちゃんのとてとて』 を活用して

出雲更生保護女性会 顧問 鍾 築 章 恵

「更女活動の活性化」や「保護司さんとの連携」について模索しているとき、広島県で取り組まれている「紙芝居」の情報を入手。松江保護観察所の協力で本件でも活用が可能となりました。

平成28年に県から送られてきた「紙芝居」を全地区で活用するため、理事で増刷しました。作業は大変でしたが、一つの目的に向かって皆様頑張りました。川跡で開催された関係機関の会議で、『ミミちゃんのとてとて』を発表。参加者の中の児童相談所の児童相談員の方から、「親、家族へ問題提起する素晴らしい紙芝居」と評価されたと聞きました。大人にもこの紙芝居を行っての反応が聞いてみたくなりました。

出雲更女の皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。



### 更女との出会い

出雲更生保護女性会 顧問 加 藤 澄 子

私と更生保護女性会との出会いは、大先輩でありご近所の吉田美也子先生から声掛けしていただいたのが始まりでした。何も解らないまま会に参加し活動を続けるうちにすっかり深みにはまってしまいました。

私は生まれが浜田市金城町の山々と田んぼしかない田舎育ちです。不思議なご縁でその田舎で鍾築章恵さんとの出会いもあったのです。家の近くに農事センターがあり、そこでの出会いでした。

時が過ぎて私が出雲に来たのも何かのご縁だと思っています。こうして60年の時が流れ今も同じ志を持って活動をつづけていられる今に幸せを感じます。

平成24年に桂才賀先生のお話と出会えることができました。『刑務所通いは やめられねえ』『子供を叱れない大人たちへ』の二冊の本を持っています。この機会にもう一度、目を通してみました。薄れかけていた更女への思いを取り戻せたかなどの思いです。

これからも皆様方のご活躍を念じながらペンを置かせていただきます。

## 出雲更生保護女性会 結成60周年記念式典・令和4年度総会

### 出雲更生保護女性会結成60周年記念式典

日 時 令和4年5月19日(木) 13時30分～15時10分  
会 場 ビッグハート出雲 白のホール



[式典の開始]



[会長あいさつ]

[オープニングは式典にふさわしい祝舞]



[コロナ禍の下 席を空けて座る]

#### 式次第

- 祝 舞
- 黙 禱
- 一 開式のことば
- 一 皇后の宮御歌斉唱
- 一 綱 領 唱 和
- 一 会長あいさつ
- 一 来賓あいさつ
- 一 来 賓 紹 介
- 一 記 念 講 演
- 一 閉式のことば



## 出雲更生保護女性会 10年間のあゆみ

### ◇概要

#### 50周年～60周年

平成24年5月、出雲社会福祉センターにおいて、出雲更生保護女性会結成50周年記念式典が盛大に開催されました。また同年には、会員の情熱と努力によって、『結成50周年記念誌』を発刊されました。半世紀にわたる出雲更生保護女性会の活動が綴られており、私たちの活動の道しるべとなっています。

平成27年度には鐘築章恵会長のリーダーシップのもと、松江保護観察所・県更女役員合同で紙芝居（防犯、食育、地域の安全）を作成され、県内各地区へ配布されました。そこで28年度は、紙芝居の活用を先進的に行っておられる広島安佐南区更生保護女性会との交流会を実施し、そこでの学びを持ち帰りました。出雲更女16地区では、現在、それぞれの地域の実情に応じて、いろいろ工夫しながら紙芝居を上演しています。



平成29年には、中国地方更生保護女性会員研修会が出雲市内で開催されました。出雲地区の会員も一部聴講ができ、よい研修の機会を得ることができました。

主たる活動である「愛の基金・愛の図書券配布」は、平成30年度からは出雲養護学校へも配布することにしました。現在も続いています。「タオルの収集・配布」については昨今の情勢により平成31年（令和元年）からは取りやめることにしました。

平成30年度に「出雲更生保護女性会だより」第1号を発刊。年2回発刊しています。（現在7号）会員相互の交流、地域社会への情報発信をし、地域社会に更生保護女性会について広く知っていただくとともに、地域と連携して心豊かな社会を育てていきたいと思っています。



本会が60周年を迎えるにあたり、令和2年10月に「出雲更生保護女性会結成60周年記念事業」の実行委員会を立ちあげました。令和2年・3年とコロナウイルスが蔓延。感染拡大防止のために、総会の中止（書面表決）、研修会の中止、愛の基金活動の縮小など、いろいろな活動が制限されてしまいました。未だ収束の気配はありませんが、「非行や犯罪のない明るい社会」「次代を担う子供たちの健やかな成長」をめざして、会員一同、日々の活動に励んでいます。

#### 10年間の会員数の推移

年度	会員数	年度	会員数
H.24	132人	29	148人
H.25	135人	30	134人
H.26	134人	31(R.1)	136人
H.27	138人	R.2	132人
H.28	136人	3	130人

この10年間の会員数は130人台で推移しています。しかし、会員の高齢化や入会者の減少傾向等により、会員数の現状維持はなかなか難しくなると思われます。これからも地域に密着した活動を推し進めていきます。



### 来賓紹介

松江保護観察所  
所長 西江 尚人様  
出雲地区保護司会  
会長 三島 洪道様  
出雲地区BBS会  
会長 春日 智徳様  
出雲地区コミュニティセンター長会  
会長 板垣 祐治様



[松江保護観察所長様、出雲地区保護司会長様にご祝辞をいただきました]



[綱領唱和]

[コロナ禍のなか 心の中で唱和]



[松江保護観察所長]

### 記念講演

再犯防止における更生保護の役割  
～更生保護女性会の活動の背景と  
なる保護観察事例を中心に～



◇活動状況

1. 会議

- (1) 理事会 (年5回開催)
- (2) 総会

- ・事業および会計報告
- ・事業計画および予算
- ・15年会員および30年会員に感謝状と記念品の贈呈
- ・地区の活動報告
- ・講演



2. 活動

(1) 出雲更生保護女性会独自の活動

① 愛の募金活動

青少年の健全育成や非行防止を願って、毎年家庭や事業所等を訪問し、浄財の寄贈を受けています。

(贈り先)

- ・県更生保護女性連盟を通して県内の関係施設に「愛の図書」「愛の募金」として贈呈  
(松江刑務所/島根あさひ社会復帰促進センター/松江少年鑑別所/わかたけ学園/中央児童相談所/出雲児童相談所/浜田児童相談所/益田児童相談所/更生保護法人しらふじ/島根県女性相談センター)
- ・旧出雲市内の保育園(所)・幼稚園・小学校・中学校・出雲養護学校(小・中)
- ・青少年健全育成県民会議へ会費

②研修視察

毎年施設訪問を中心とした研修会を実施しています。(会員研修一覧表を参照)



[ H.29 大仁地区との交流 ]



[ R.1 松江地方裁判所 ]

③ 各地区での活動

旧市内16地区がそれぞれ地域の実情に応じた活動を工夫しながら実施しています。(詳細は「各地区更生保護女性会のあゆみ」参照)

(2) 関係機関、他団体との連携における活動

- ① 保護司会、コミュニティーセンター、青少年育成協議会、社会福祉協議会、児童民生委員協議会、自治協会等他団体の活動に参加

ア. 保護司会との連携

- ・社会を明るくする運動に参加  
社明月間に市内の商業施設で啓発活動に参加
- ・保護司会主催の公開ケース研修会に参加

イ. 他団体との連携における活動例

- ・夜間パトロール、夏休み街頭指導他
- ・登下校の見守り活動、あいさつ
- ・学校・幼稚園・保育園(所)での読み聞かせ
- ・世代間交流行事への参加
- ・子育て支援行事への参加 他

◇役員

歴代役員一覧

年度	顧問	会長	副会長		監事		事務局	
H.24		鐘築章恵	伊藤稔子	加藤澄子	瀬島暢子	宮本陽子	濱村厚子	柘植悦子
H.25~26		//	//	//	澄田三枝子	//	//	//
H.27~28		//	山田恭子	//	//	高橋悦子	嘉藤駿美	鶴原栄美子
H.29	鐘築章恵	加藤澄子	//	土江道子	//	//	//	//
H.30~31	//	加藤澄子	園山久美子	嘉藤駿美	山代恵子	高瀬宜子	高橋利美	佐藤道子 安喰公美
R.2~4	//	//	嘉藤駿美	佐藤道子	安喰公美	森脇綱代	吉川京子	園山京子 加藤澄子

◇総会に於ける講演会の演題及び講師一覧

(平成24年度以降)

開催年度	講演演題	講師名(敬称略)
H.24	古代出雲大社の祭儀と神殿 ～古事記編纂千三百年を迎えて～	島根県神社庁 参事 錦田剛志
H.25	春雨や落雷のお達者落語会	医学博士 健康スポーツ医 春雷や落雷
H.26	これからの更生保護について	松江保護観察所 所長 中村英明
H.27	ハッケヨイ ノコッタ	児童養護施設(安来学園) 安全委員会委員長 清水洋一
H.28	人生の旗印	元松江東高校 校長 中村清志
H.29	愛されて子どもは育つ	出雲児童相談所 戸山裕一
H.30	わくわくどきどき心地よく～出逢いに感謝	元中学校 校長 岩崎 巖
H.31(R.1)	野に咲く花のように	島根県保護司会連合会 会長 坂本圭祥
R.2	コロナ禍のため総会中止	
R.3	コロナ禍のため総会中止	

◇会員研修一覧

(平成24年度以降)

開催年度	研修先(訪問・見学・奉仕等)
H.24	出雲弥生の森博物館
H.25	島根更生保護会見学・松江イングリッシュガーデン
H.26	邑智更生保護女性会との交流会(田所公民館・縄文村自然バイキング)
H.27	松江更生保護女性会との交流(松江保護観察所・由志園)
H.28	広島県安佐南地区更生保護女性会との紙芝居研修
H.29	・木次乳業視察 ・大仁地区更生保護女性会との交流会
H.30	・島根あさひ社会復帰促進センター ・島根あさひ訓練センター
H.31(R.1)	・松江地方裁判所 ・更生保護施設「しらふじ」
R.2	コロナ禍のため 研修視察は中止
R.3	コロナ禍のため 研修視察は中止 【研修会(諏訪氏による講演会と鷲巣地区発表会)】



◇ 顕彰者

顕彰者名一覧

年 度	法務大臣感謝状	日本更生保護女性連盟 会長表彰	中国地方更生保護委員会 委員長表彰	中国地方更生保護委員会 委員長感謝状	中国地方更生保護 女性連盟会長表彰	松江保護観察所 所長表彰	松江保護観察所 所長感謝状
H.24				松岡 佳子	川上 和枝	横原由利子 福田 洋子	
H.25				鐘築 章恵	加藤 澄子	岸 幸子 濱村 厚子	
H.26		中山 道子		古瀬 佐恵	伊藤 稔子 柘植 悦子		飯塚美代子 石倉 輝子
H.27		鐘築 章恵		加藤 澄子	山田 恭子		山田トノ工 加地 秀子 須山紀和子 岸 マサ子 錦織 克美 高橋 利美
H.28				伊藤 稔子	濱村 厚子		土江 道子 片寄 恭江 三島シツ工 森脇 絹代 今岡 恵子 板倉 典子
H.29	鐘築 章恵		山田 恭子		澄田三枝子		松田 榮 松林 禮子 岩成 敬子 加藤 君恵 藤間 弘子 水上 郁子
H.30		加藤 澄子		柘植 悦子	土江 道子		浅津美保子 宮岡あけみ 奈島 芳江 川島 節恵 園山久美子 宮本 陽子 岩崎志津江 馬庭 淑子
R.1				澄田三枝子	森脇 絹代		名原 克枝 高瀬 泰子 中尾 節代 嘉藤 酸美 吉川 京子 江角 和子 宮本 明子 鶴原栄美子
R.2				土江 道子	高橋 利美		布野 房代 園山 恵子 高見 由起 原 尚子 布野 浩子 高瀬 宜子 打田美喜子 佐藤 道子
R.3				森脇 絹代	岩成 敬子 園山久美子		周藤 千雪 山根 繁子 倉橋 宏子 山代 恵子 安喰 公美 園山 京子 加藤 澄子 佐々木由紀子

各地区更生保護女性会のあゆみ





# 今市地区



高瀬川周辺

## \*地域の概要

私たちの住む今市町は、JR 出雲市駅を中心に永く商業地として発展してきました。

しかし、道路網整備に伴う立ち退き等で人口は著しく減少し、町はドーナツ化、空洞化してしまいシャッター街の様相です。

さらに、この10年間には大型店パラオや一畑百貨店をはじめ、集積度の大きい公共物(出雲体育館・出雲プール・健康文化センター・合銀跡地の元気交流館・ボランティアセンター)等も町内から退去してしまいました。

しかしながら、観光地ということもありホテルが増え(大抵1~2夜泊の観光客)、マンション建設も進んで、2013年には出雲医療看護専門学校も開校しました。最近では、空き家対策として、若者が店舗を構えるなど、少しずつですが賑わいが戻りつつあります。

世帯数は2,860、人口は6,453人と大きく減少。高齢化率は31%と高く、高齢者世帯が増加してきているのが現状です。

しかし、伝統校である今市小学校は、全校児童数516名!そのうち今市地区の児童は300名であり200名余りは校区外(今は選択校区)からの児童であります。幼・保育園も6園あり、他地区からの通園児が多数です。

この事は、今市町に利便性があり、魅力的な地域であることの表れであり、今市町に住みたいと思う人が多いように思います。

またコミセンを中心に町ぐるみで子どもたちを見守り、いろいろな行事を通して、子どもの健全育成を願っている地区での取り組みの表れかと思われます。

コロナ禍でもあり、更生保護女性会の独自の活動は十分ではないものの、地域と連携をし、安心のできる住みよい町を目指して今後とも活動を展開していきたいです。

### ◀歴代役員と会員数▶

- 武永清乃会長 (S37~S44) 不詳
- 武永敦子会長 (H2~H22) 15名
- 竹原睦世会長 (H14~H22) 14名
- 村尾律江理事 (H14~H22) 14名
- 松田静子理事 (H22~H26) 15名
- 園山久美子理事 (H26~現在) 9名



(役員会の様子)



(園児からのお礼の手紙)

## \*活動状況

### 1. 愛の図書募金活動

恒例の「社会を明るくする運動」期間中に趣意書を持って地区内の施設や家庭を訪問し青少年の健全育成、非行防止を訴えて



(図書券を贈呈)

募金をします。募金活動で得た浄財を図書券として地区の中・小・幼・保を訪問し贈呈しています。

## 2. 独自の活動

### ア、定例会(年3回)

活動に対する理解と親睦をしています。

### イ、読み聞かせ

毎週火曜日・小学校



(読み聞かせ)

## 3. 関連団体との連携

### ① 今市地区青少年育成協議会

#### ア、「声かけ・あいさつ」運動

第1・3月曜日 朝7:45~8:05  
今市小学校の登校口(正門・西門・陸橋)で「おはよう・ありがとう」のたすきを着用して立哨をしています。



(月に2回声かけ・あいさつ)

### イ、「通学生マナーアップキャンペーン」及びあいさつ運動

JR西日本、島根県、青少年育成島根県民会議等の主催・協力により4・9月(年2回)出雲市駅街頭で、マナーアップ啓発チラシを配布し声掛けをします。

### ② 今市だんだんネットワーク

#### ア、「下校時間帯立哨パトロール」

15:30~16:00 隔週月曜日を担当し最寄りの下校路で安全を見守り声かけをしています。

### イ、「今市小学校の子どもを語る会」

民生児童委員・地区学校運営理事・教職員等で担当地域の児童の生活を中心に話し合いをします。

### ③ 保護司会

ア、保護観察所からの要請で、対象者と駅周辺の奉仕作業。

イ、BBS会との連携、対象者との仲間づくりボランティアへの参加

## 4. 研修会に参加

各種他団体の集会に参加し、更生保護女性会の活動の趣旨を話し理解を深めるように努めていこうと思います。



(交通安全教室)



(ありがとう給食会)



今市地区会員

園山久美子、高瀬宣子、影山千代枝、川島美喜子、那須幸子、御船良子、坂根真理子、澄田牧子、行長留美



# 大津地区



大津山廻り：高瀬川沿の桜

## ＊地域の概要

大津地区は出雲市のほぼ中央部に位置しています。地区の東側に斐伊川を擁し、豊かな緑と歴史と文化の街です。

現在大津地区は世帯数4,249戸、人口10,001人で、この10年間あまり大きな変動はないが、道路網の整備や新たな宅地の造成・新築などが進み、生活環境が変化するとともに子どもを取り巻く環境も大きく変化してきました。

大津地区更生保護女性会は、昭和37年の出雲更生保護婦人会と同時に発足しました。現在は、コミュニティセンターや社会福祉協議会の組織の中に位置づけられ、地域に根差した活動となっています。

今後も、地域との連携を深めながら、子どもの健やかな成長を見守り、心豊かなまち大津をめざして取り組んでいきたいと思ひます。

### ＜歴代理事＞

- 浅尾 久枝 (S.37～)
- 田部 芳枝 (不詳)
- 来海 トシ (不詳)
- 山本 道世 (H.4.3～H.13.2)
- 中山 道子 (H.13.3～H.19.3)
- 鐘築 章恵 (H.19.4～H.25.3)
- 岩崎 志津江 (H.25.4～H.29.3)
- 佐藤 道子 (H.29.4～現在)

## ＊活動状況

### 1. 愛の図書募金活動

「社会を明るくする運動月間」期間中(7～8月)に会員各自が地区内の企業や家庭を訪問し募金活動を行います。頂いた浄財は市本部に提出します。

図書券は地区内小学校、幼稚園、保育園へ贈呈しています。(一中へは今市地区と交互)その際、紙芝居をして子どもとの交流を図っています。また、幼稚園では保護者の皆様の参加を得、私たちの活動をPRしています。

### 2. 独自の活動

#### ① なかよしクッキング

子どもたちの健やかな成長、健全な家庭生活を目指して、平成14年7月にスタートしました。長期休業中の年3回開催。コロナで中止した3回を除き、令和3年度までに54回開催しました。(対象は、小学4～6年生)更女会員は“料理名人のおばさん”に早変わり。安全管理をしながらやさしくサポートします。出来上がった料理を試食しながら感想を聞くのも楽しみの一つです。



(なかよしクッキング)

#### ② 紙芝居

絵本や紙芝居を通して子どもの心を育ぶことを願い、幼稚園、保育園(5ヶ所)、児童クラブを訪問しています。子どもたちは真剣な顔で聞き入り、物語に浸っているようです。



(保育園での紙芝居)

#### ③ 見守り

毎月第2、第4月曜日に町内6ヶ所で、登校時の見守り活動を実施。安心・安全な登校を願い「おはよう！」の声掛けをします。「おはよう！」と返してくれる子ども達に元気もらっています。

#### ④ ミニ集会

年6回以上、活動計画・活動状況の交換・反省会・研修会を行って、会員相互の連携強化に努めています。

～一例～

- ・「更生保護とその現状」 上谷淳子氏
- ・「ひまわりとわたし」 園山英子氏
- ・同和問題研修 ビデオ視聴

#### ⑤ 市更生保護女性会の活動への参加

## 3. 関係団体との連携活動

### ① もちつき体験

日本古来の食文化の伝承、大人と子どもの交流を目的に毎年実施。平成22年度からは、大津地区社協と共催で行っています。大津小学校の会場は、子ども達と保護者、地域のボランティアで賑やかになります。ついたお餅は黄粉餅にさせていただきます。

令和になり、コロナ禍で集会等が危ぶまれる時代となりましたが、もちつき体験が再開できることを願っています。

### ② 月見の会

日本の伝統行事を大切に継承することを目指し、平成20年から大津コミュニティセンターで開催。秋の七草を飾った壇上に、

団子や野菜、果物を供えお月見気分を盛り上げます。お月見の由来、収穫感謝の話、十五夜の歌を歌った後、みんなで作ったお月見団子を味わいます。

### ③ 笹巻作り

地域の伝統行事を守り続けるため、笹巻の作り方を伝承しています。

出来上がった笹巻を茹でて、みんなで試食します。一部は家庭に持ち帰り、家族ふれあいの一助となっています。

### ④ 「青少年健全育成推進大会」への参画

保護司会、青少年育成協議会との共催で毎年実施。様々な関係機関が参画し、子どもの健全育成に向けて地域ぐるみで取り組んでいます。

### ⑤ 「大津更生保護連絡会」の実施

保護司会との相互理解を図り、安心安全な町づくりをめざして平成28年に立ち上げました。(意見交換会、研修会等)

### ⑥ 保護司会諸行事への参加

(講演会等)

### ⑦ 社会を明るくする運動への参加

(伝達式、講演会、街頭啓発活動等)



大津地区会員  
13名

鐘築章恵/加地秀子/片寄恭江/  
水上郁子/川島節恵/原尚子/  
佐藤道子/福田緑/山本知子/  
小村悦子/小林貴子/米原和子/  
山田律子



# 塩冶地区



放水路上空より（国交省提供）  
（人口およそ1万5千人で推移する塩冶地区）

## ＊地域の概要

東日本大震災以来この10年、私たちの生活に大きく関わったことは、自然災害やコロナウイルス感染症への対策や備えではないでしょうか。令和3年度は、塩冶地区でも大雨による浸水被害箇所があり、コミセンに避難された方もあったということです。ハザードマップが身近なものになりました。

平成25年、塩冶地区を流れる神戸川へ斐伊川から分流する「放水路」事業と神戸川の拡幅工事、支流の塩冶赤川の改修が完成したことは治水対策上、画期的なことでした。

塩冶地区は、大型スーパーマーケット、コンビニ、開業医、介護施設や保育園などがさらに増加し、独居世帯アパートもふえています。昔の塩冶を知る者は、緑の田んぼ風景がなくなりさびしい思いがありますが、年々、便利で住みよい環境を整えてきています。

また、子どもや大人を対象とした「ふるさと探訪」、俳人原石鼎氏の句碑建立など、塩冶地区の歴史や文化を学ぶ活動が継承され心豊かな地域づくりにも努められています。

この2年間は、コロナウイルス感染症予防から地域の催し物や子どもたちの活動が縮小され人との接触が大きく制限されてきました。一方で、自治協会加入率が40%を切ったという実態があり、人とつながることの大切さをますます痛感させられています。

私たちの活動は、この10年間に5名が辞され4名が加わり、現在11名で行っています。

## ＊地域の活動状況

### 1. 愛の図書募金活動

従来どおり各会員が募金を募り、小・中学校、幼稚園・保育園へ訪問し「愛の図書カード」として贈呈しています。



（お昼寝前の読み聞かせ）

### 2 独自の活動

#### ① 塩冶地区定例会

平素は年間計画に沿って活動しています。コロナ禍にあっては活動を変更しながらも、地区会を続けてきました。

直接顔を合わせることで、年齢経験がさまざまな会員からその時々々の旬の問題や子どもや地域・社会に密着した情報が得られるよさがありました。

例えば、子どもの居場所づくりを支援する医学部学生によるボランティア「てごほ一む」、コロナ感染症にかかわる人権活動「シトラスリボン」運動、福祉サロン会などでも喜ばれている短時間でできる手芸や折り紙の紹介など。

その度に「いいね、やってみたい。私たちにできることがあればやりましょう。」と会員一同が前向きに取り組めることをすばらしく思います。誰かのために、また、

他と共感し合い自分も楽しみながら参加することは更生保護の精神にも通ずるのかなとも思います。



（貯金箱）



（シトラスリボン）



（塩冶地区会）

#### ② ぞうきん作り

毎年、会員そろってぞうきん作りをし訪問先毎に分け「愛の募金」のお願いにあわせて届けています。令和3年度は、各家庭で縫った物を持ち寄りました。

また、令和2年度はコロナ禍のため、ぞうきんに替わってマスクを作り、小・中学校、幼・保育園、コミセン、JAなど11ヶ所に届けました。



（マスクのお届け）



（マスク作り）

#### ③ 夏のおはなし会と防犯教室

令和3年度は第2児童クラブを訪問しました。おはなし会では、子どもたちは紙芝居や絵本などを身を乗り出して聴いてくれます。一緒に手作業などもします。私たちにとっても元気の出る楽しいひとときです。

防犯教室では、遊びや登下校で起きる事故や犯罪、声かけ事案など具体的に数字を示して指導して頂き、子どもたちと共に身の引き締まる思いで聴かせてもらいます。



（防犯教室）



（夏のおはなし会）

#### ④ 自主研修

見聞を広め会員の親睦を深める目的で毎年行っています。

☆田部家土蔵群と鉄の博物館（平27）

☆かんべの里民話館（平28）

☆奥出雲櫻井家と日本庭園（平29）

☆白バラ牛乳工場（平30）

☆出雲大社神苑、パワースポット（令1）

☆「子どもの本の読み聞かせ」勉強会

～当会員周藤千雪さんによるお話～（令3）

☆「命の大切さを共に考えましょう」

～園山英子さんによるお話～（令3）

## 3 関係団体との連携

### ① 幼稚園児との

「ちまき作り」

「もちつき」

（百寿会のみなさまと共に）（ちまき作り）



### ② 総合見守りネットワークへの参加

（塩冶地区40団体で地域を支える）

### ③ 防犯教室開催

出雲警察署生活安全課・子ども安全サポートセンターへの協力依頼



令和3年度会員

後列／山岡、打田、周藤由、石川、花田

前列／布野、宮本、矢田、高橋

右側／佐藤、周藤千



# 古志地区



新出雲エネルギーセンター

## ＊地域の概要

古志町は、面積 8.28km<sup>2</sup>、東西は約 1.5km、南北約 5.5kmの広さで、斐伊川・神戸川合流の際にできた赤い古志橋が古志町のシンボルになっています。

古志本郷遺跡では、平成 10 年の調査で 8 世紀前半の大型の建物跡が集中して見つかり、神門郡家の中心部であった事が証明されました。

最近では周辺にアパート、1 戸建て住宅が増えて、昔ながらの住宅と現代風の建物が混在しています。

令和 3 年に古志町上新宮の砕石跡に、出雲市可燃ごみ処理施設が完成しました。充実した施設で事前の申込で見学もできます。

また古志スポーツセンター施設に、新たにグラウンド・駐車場が拡充され、他町内からもたくさんのスポーツ愛好者が集う場になると期待されています。

## ＊活動状況

### 1. 愛の募金活動

古志地区 5 人の会員は地区を分担して訪問し、活動の趣旨を丁寧に説明しながら、愛の募金をお願いしています。令和 2 年度はコロナ感染者の増加で出雲更生保護女性会会員のみでの愛の募金をとる事で、募金活動

は中止しました。

古志地区は、小学校は神門地区と同じ神戸川小学校、中学校は塩冶地区と同じ出雲市立第二中学校に通う為、小学校は神門地区と一緒に、中学校は塩冶地区と交互に愛の募金のお願いをしています。

図書券も各自担当を決めて、園長・校長にお渡しして、可愛い園児の作品やお礼状を頂いています。

### 2. 独自の活動

#### ① 定例会

活動に対する共通理解を深め、親睦を図る為に年に 4～5 回定例会を開いています。

#### ② 地域通学路の安全点検活動

毎年小学生の通学路を中心に事前に決めた所をごみの収集をしながら点検して歩きます。

令和 3 年度は小学校から児童クラブへ帰る途中の横断歩道を適切な場所に移動してほしいという要望があり、その周辺を点検して歩きました。

道端や隣接する田んぼ、空き地、土手にも沢山のごみが投棄されています。煙草のポイ捨ても多く、会員それぞれが拾ったごみは持ち帰り、各自で処分します。



(通学路の点検を兼ねたポイ捨てごみ拾い)

#### ③ 古志児童クラブ訪問

毎年夏休みに入ると、事前に打ち合わせの日時に古志児童クラブに伺って、児童と一緒に楽しい活動を行っています。

会員で内容を相談して、ブラックライト・折り紙・オリジナルの竹筒にお手玉を入れる玉入れ競争・牛乳パックで作られた入れ

物と玉で行うけん玉遊びなどをして、児童に楽しんでもらえるよう工夫しています。その折には子供達に折り紙や風船等のお土産を持参して喜んでもらっています。



けん玉遊び



玉入れ競走



折り紙作り



レーザークラフトでコースター作り

### 3. 関係団体との連携活動

#### ① 新年かるた会(3 世代交流会)時のおやつ作り

毎年(令和 2 年・3 年度はコロナ禍で中止)1 月の成人の日前後に青少年育成協議会主催で、小学生と保護者が古志コミュニティセンターでかるた取り大会をします。そのかるた取り大会が終わるまでに、



正月のかるた取り大会後のおやつタイム

古志更生保護女性会会員 5 人で、出席者全員のおやつ作りをしています。

#### ② 児童・生徒の登校時の交通指導

他団体と一緒に担当日に、学校の通学路に立って、児童・生徒の見守りをします。

#### ③ 夏休み中の防犯パトロール

他団体と一緒に夏休みに出雲第二中学校校区の学校・公園・ゲームセンター等を見回りしています。

#### ④ 古志地区出雲市青少年育成協議会の会議等への参加

古志コミュニティセンターで行われる会議に出席します。

#### ⑤ 保護司会諸行事への参加

(講演会・研修会・映画鑑賞会等)

#### ⑥ 出雲市更生保護女性会諸行事への参加

(総会・研修会・理事会等)

#### ⑦ 「社会を明るくする月間」行事への参加

(伝達式・講演会・街頭啓発活動等)



令和 3 年度 古志更生保護女性会会員

加藤 澄子  
三野瀬 操 石田 裕子  
伊藤 里美 横木 礼子



# 高松地区



神戸堰・高松樋門・  
神戸堰橋



## ＊地域の概要

出雲平野のほぼ中央に位置。

農業が盛んな地域で約60年前から浜町を中心にぶどう栽培が始まり今では「鳥根ぶどう」の産地としてその名を馳せています。

近年はバイパスの開通、大型商業施設の出店等により住宅、アパートが多く建築され人口も一万人を突破し(2012年5月現在)、地区の様子が大きく変わってきています。

## ＊歴代理事

OS37年	馬場	アヤ子
OS57年	吉田	圭子
OH6年	森山	サダ子
OH10年	中島	正子
OH14年	瀬島	暢子
OH16年	澄田	三枝子
OH19年	瀬島	暢子
OH22年	馬庭	俣子
OH25年	安田	和子
OH27年	須山	紀和子
OH28年	打田	美喜子
OR元年	吾郷	千春

## ＊地域の活動状況

### 1. 愛の募金活動

時代の流れ、更にコロナ禍による影響を受け、訪問活動が困難になりました。

その状況下において趣旨を丁寧に説明し理解を得る活動を一步ずつ展開していています。

#### ● 幼稚園から

“ありがとうの会”に案内される

一緒に遊ぼう、発表タイム、ありがとうを伝えよう、など「愛の図書」が喜ばれている様をはかり知る事も出来た楽しいひとときでした。



図書券  
ありがとう♡♡



(浜山保育園より「お礼のカレンダー」)

## 2. 独自の活動

### ① 出雲警察署少年補導職員を講師とする研修会の開催

少年非行の実態を知り、活動の糧とする為年一回の研修会を開催しています。この10年で非行少年、不良行為少年は大幅に減少している事と同時にいじめ、児童虐待、SNSコミュニティーサイト等の利用に因る福祉犯罪被害者の存在等新たな問題を知りました。

少年たちの健やかな成長の為に何が出来るか常に関心を持ち学び続けたい。



### ② 「ミミちゃんの手と手と手」紙芝居

高松小「まつぼっくり教室」において、紙芝居を通して「万引き」について考えてもらうと共に、更生保護女性会の役割、活動内容について理解を深めてもらいました。



### ③ 手作りぬいぐるみホゴちゃん

新たな活動を模索中に偶然目にした記事を契機にぬいぐるみ作りが始まりました。

久々に持つ針、しかしそこは昔取った杵柄、かわいく出来上がり、広報活動の一翼を担いました。



## 3. 関係団体との連携活動

### ① 高松青少年育成協議会

#### ● 地域座談会への出席

50年を優に超える高松地区伝統ある行事でしたが、コロナウイルス感染拡大に伴い令和2年からラジオ体操参加に変わりました。それによって地域の子供たちと、より密な関係になることができました。



(夏休みラジオ体操への参加)

#### ● つるし雑づくり

「つるし雑で世界ギネスに挑戦 in 出雲」のイベントに大人から子供まで参加。

21,910個でギネス達成!!



### ② 保護司会と高松コミセンへ

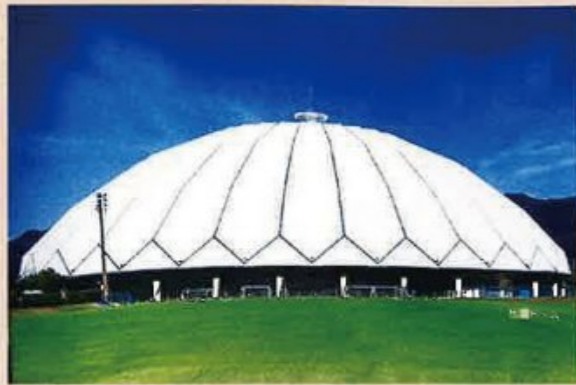
「社明月間」横断幕掲示



中島 正子	小倉 郁子	天野 良枝
澄田美枝子	馬庭 俣子	打田美喜子
瀬島 純子	西本ひろみ	吾郷 千春



# 四絡地区



出雲ドーム

## ＊地域の概要

四絡地区には、「四絡遺産群」と呼ばれている7つの移籍があり、縄文時代後期から弥生時代前期には人が住んでいたと考えられる土器や住居跡が、矢野遺跡や矢野貝塚から発掘されています。明治22年、市町村制の施行により「四つの纏(まとい)」にあやかり、4つの村の団結・発展を願って「四纏(よつがね)村」が誕生しました。

平成4年、矢野町に「出雲ドーム」が完成、平成10年島根県立中央病院が開院、国道9号バイパスの開通で、インフラの整備や商業施設、利用施設の集積により、安心、安全な環境が人を呼び寄せ、賑やかで活気あふれるまちに変化しています。現在人口は12,517人、世帯数は5,587世帯となっています。近年の特徴として外国人人口は580人で増加の要因となっています。四絡はちょっと都会的で、田園風景が残る、歴史と文化が調和する魅力あふれる地区です。



## ＊地域の活動状況

### 1. 愛の募金活動

毎年、保育園、幼稚園、小中学校に図書カードを渡しています。

大変喜ばれ、お礼に園児たちの思いが送られてきて、毎回ホットな気持ちになります。



### 2. 独自の活動

医療施設「もくもく苑」で、平成3年からずっと令和元年までお茶の接待をしていました。近年は新型コロナウイルス感染防止のためにできなくなっています。

お茶の接待とは、毎月第2月曜日14時から15時半まで入居者約50名を対象にお抹茶をたて、生菓子と一緒にふるまっています。会員にとっても入居者のみなさんとお話ができ、喜んでもらえているので、私たち更女会員も楽しみに活動ができています。でも今は、残念ながらコロナ禍で活動中止です。今後、収束し、再開できることを祈っています。

今後も、この活動をずっと続けていきたいと思っています。

## 3. 関係団体との連携活動



(お抹茶とお菓子の準備に余念のない更女会員)

### ☆8月「ドームまつり」

ドームまつりに参加し、たこ焼き販売を担当し、会員手作りの三角帽子をかぶり、エプロンをつけ、ドームに来られた人たちに更女の宣伝をしながら活動を行っています。他地区ではお揃いのエンジ色のエプロンで更女の名前の入ったエプロンを購入して活動をしておられるのを聞き、私たちも…と思っていた矢先にコロナ感染拡大で中止になってしまいとても残念です。

### ☆研修旅行

四絡地区は研修旅行参加も意欲的です。



(2016年3月松江にて)



(2017年にロイヤルホテルで情報交換会)



(2021年 四絡研修会)

### 歴代の理事名、在任年月日

- 来間知恵子 昭和40年度頃～不明
- 石飛ハルコ 不明～平成5年度
- 萬代明子 平成6年度～平成22年度
- 石倉輝子 平成23年度～平成26年度
- 山代恵子 平成27年度～現在に至る

### 四絡地区会員

- 渡部 賀江、 田村 松代、
- 田村 節子、 萬代 寿子、
- 山代 恵子、 園山 恵子、
- 奈島 芳江

メンバーも減少してきています